CSC 6.X：E メールのレピュテーションの設定例

内容

概要

このドキュメントでは、Cisco Content Security and Control(CSC)Security Services Module(SSM)でEメールレピュテーションを設定する方法の設定例を紹介します。

前提条件

要件

この機能を使用するには、Security Plusライセンスが必要です。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、Cisco Content Security and Control(CSC)SSMとソフトウェアリリースバージョン6.3に基づいています。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのようなコマンドについても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細については、『シスコ テクニカル ティップスの表記法』を参照してください。

背景説明

Eメールレピュテーションは、スパムメールを削減するテクノロジーです。この機能を有効にすると、CSC SSMはメールの発信元がブラックリストに記載されたアドレスであるかどうかを確認します。スパムメッセージを送信するすべてのIPアドレスを含むデータベースのリストを保持します。このリストから発信者が見つかったメールはスパムと見なされ、ドロップされます。

このEメールレピュテーションテクノロジー(ERS)が提供するサービスレベルは、基本的に2種類です。これらのサービスは、主に送信元IPアドレスの信頼性のレベルに基づいています。

- ERS Standard – スパムの既知の送信元を含む
- ERS Advanced：既知のソースと疑わしいソースが含まれます

IPアドレスがERS Standardデータベースに追加されると、スパムソースと呼ばれ、このリストから削除されたIPアドレスを確認することはまれです。ERS Standardには、スパムを常に発信するIPアドレスのリストが含まれています。

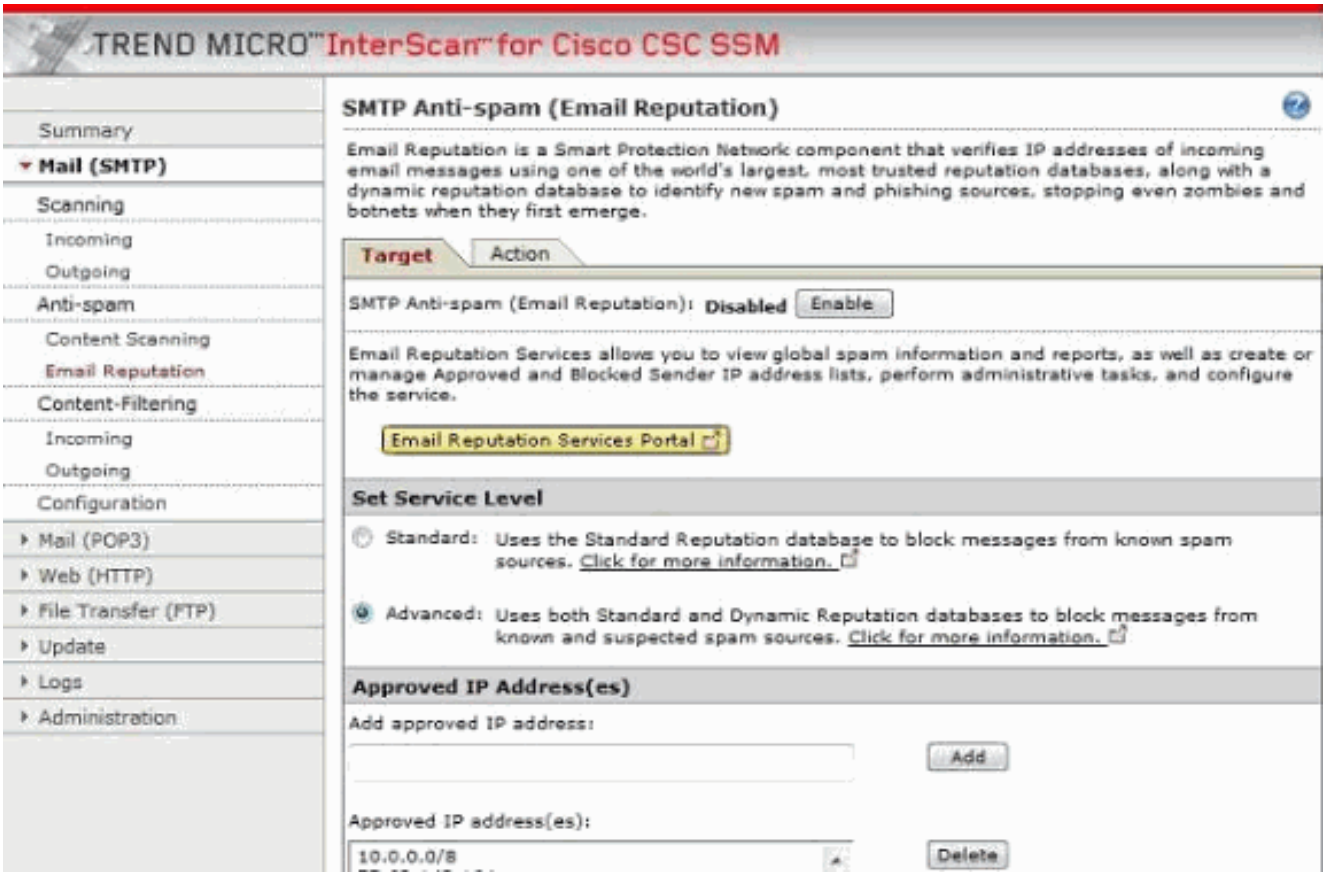
ERS AdvancedにはIPアドレスのリストが含まれています。このリストは、スパムを今後生成しないことが判明した場合に削除されます。たとえば、ハッキングされたメールサーバは、セキュリティが侵害されたときに、このデータベースにリストされます。正常に復元されると、このデータベースから削除されます。

設定

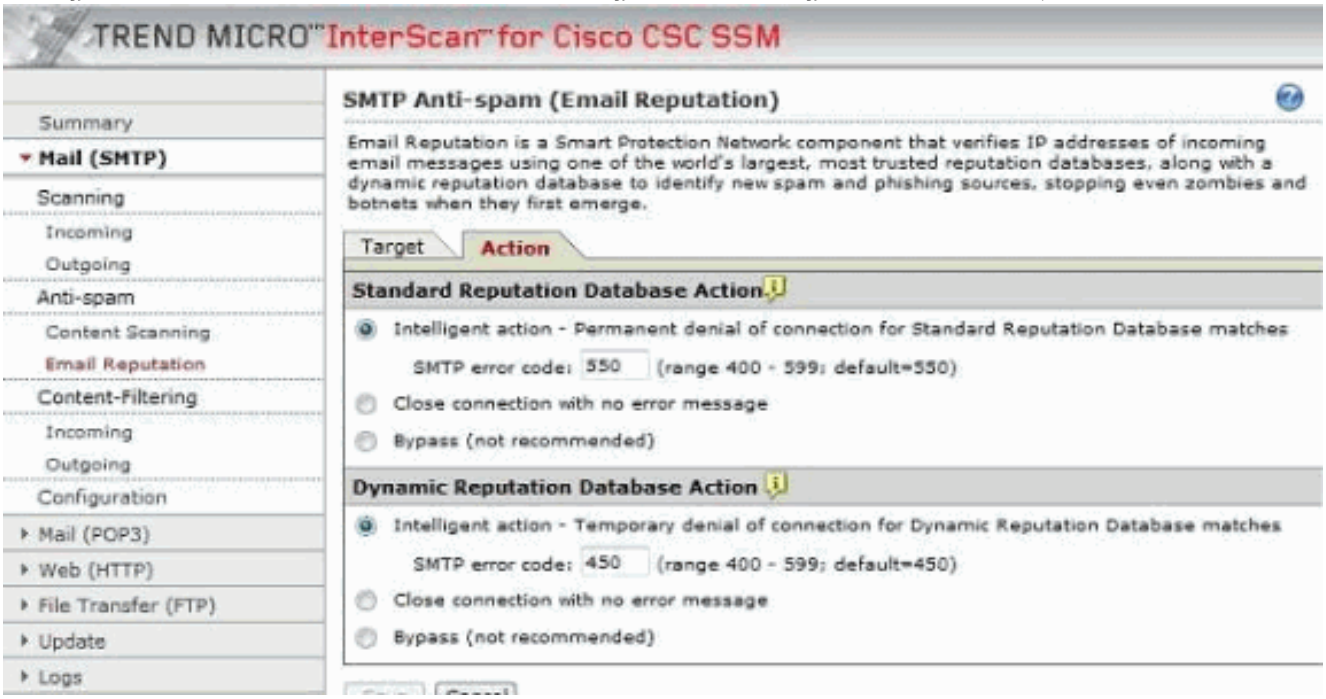
このセクションでは、このドキュメントで説明する機能を設定するために必要な情報を提供しています。

注：このセクションで使用されているコマンドの詳細を調べるには、Command Lookup Tool (登録ユーザ専用) を参照してください。一部ツールについては、ゲスト登録のお客様にはアクセスできない場合がありますことをご了承ください。

1. [**メール(SMTP)] > [スパム対策] > [Eメールレピュテーション]を選択します。**新しいウィンドウが開きます。
2. [Target]タブで[**Enable**]をクリックして、この電子メールレピュテーション機能を有効にします。
3. [Service Level]**に[**Advanced]を選択します。
4. [Approved IP Addresses]フィールドで、スキャンから除外するIPアドレスの範囲を指定します。



5. [アクション(Action)]タブで、エンタープライズセキュリティポリシーに基づいてアクションのタイプを指定します。次の3つのアクションを使用できます。エラーメッセージが表示された接続を閉じるエラーメッセージなしで接続を閉じる接続をバイパスする



確認

現在、この設定に使用できる確認手順はありません。

トラブルシュート

ここでは、設定のトラブルシューティングに使用できる情報を示します。

一部のドメインから電子メールを受信できません

問題：

問題は、特定のドメインから電子メールを受信できないことです。CSCモジュールが電子メールをブロックしているようです。モジュールをバイパスすると、すべてが正常に動作します。次のエラー メッセージが表示されます。`2012/02/06 14:33:00 GMT+00:00 NRS 174.37.94.181 RBL-Fail QIL-NA RejectWithErrorCode-550 NA 0 0 NA NA 0 NA`

ソリューション：

この問題を解決するには、電子メールレピュテーション機能を正しく設定します。

関連情報

- Cisco ASA Content Security and Control(CSC)Security Services Module Support
- テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems